



# 例会報告

第2630地区 岐阜県 濃飛分区 創立1966年1月15日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町3-33-3 TEL 34-3988  
大垣共立銀行 高山支店 4F
- 会長 門前 庄次郎
- 幹事 田中 正躬
- 会報委員長 黒木 正人



「おなじ星を見ていた - ギアリンクスの船が虹より雨あがり 内田 新哉

## <会長の時間>

今年度の例会も後2回となりました。本日は少し振り返りをさせて頂きたいと思います。お配りしました『国際ロータリー 課題事項』と書いてある資料ですが、3つの大きな課題があり、その中にまたいくつかの課題があります。それぞれを3つ以上達成するとロータリー賞の対象になるという事です。これは全て『マイロータリー』から登録するようになっております。そして今年度はこの事を念頭に置きながら活動して来ました。



大きな課題は以下の3つとなります。

- 1、クラブのサポートと強化
- 2、人道的奉仕の重点化と増加
- 3、公共のイメージと認知の向上

1については、『会員の純増・マイロータリーに登録』の課題が達成出来なかったもので、残念な処でした。

2については、『年次基金の寄付』や『奉仕プロジェクトに参加』『ポリオ撲滅活動への募金』などについては会員の皆さんに、各奉仕プロジェクトに積極的に参加頂き、その活動の中でポリオ撲滅募金活動も行い、意義のある多くの活動が出来たと思っております。6の課題の内5つ達成出来たと思っております。

3については重点的な活動は「ロータリーショーケース」に全て投稿し、公共のイメージと認知度を上げる事を目的にそれぞれの事業について、マスコミにも声を掛け記事にして頂いたり、フェイスブックに載せて頂いたりしました。結果的に6の課題の内4つ達成出来たと思っております。

詳しくは『マイロータリー』を除いて頂きたいと思っております。

会員増強に関しては純増となりませんでした。会員の皆さんの協力頂き、会員増強委員会には本当に頑張って頂きました。3名の方に新たに入ってもらいましたし、来年度早々に入ってもらえる方、また少し先になりますが入って頂けそうな方も見えます。年度を過ぎながらも会員が増えて行きそうなことに、有り難く思っています。

また今年度は各委員会でも新しい取り組みをして頂いたり、様々な形で良い事業をやって頂いたりと感謝して居ります。改めて最終例会で御礼申し上げますが、本日は簡単な一年間の振り返りとさせて頂きます。

## <幹事報告>

- ◎高山市スポーツ推進委員会、高山市ソフトミニレーボール選手会より
- ・第72回高山西RC杯争奪 高山市ソフトミニレーボール大会の開催について
- 日時 8月4日(日) 9:00~
- 場所 飛騨高山ビッグアリーナ



## <受贈誌>

高山市文化協会(設立70周年記念誌)、高山市青少年育成市民会議(総会資料)

## 新会員紹介

大垣共立銀行高山支店長 松田 康弘



## <出席報告>

区分	出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
前々回	27名	4名	31名	39名	82.05%
本日	35名	-	35名	41名	85.37%

## <本日のプログラム> ガバナー補佐訪問

国際ロータリー第2630地区  
濃飛グループガバナー補佐  
内田 幸洋 様



皆様こんにちは。本日は濃飛グループ6クラブへの各4回ずつの訪問最終回、前任者に連れられての訪問を併せますとさらに回数が増えますが、計24回目のガバナー補佐訪問となりました。

各クラブに伺いまして、濃飛グループと一括りにはしても、各クラブ毎の特色を実感させていただきました。わかりやすい所では、例会場の違い。我がホームクラブの高山西RCと親クラブの高山RCは銀行の会議室ですが、他の4クラブはホテル等の例会場で、中でも昨日訪問しました可児RCはバブルの頃に造られたゴルフクラブが会場です。それだけで雰囲気の違いがあります。また活動についても、下呂RCは会員数22人と小規模ながら減塩活動を全市の取り組みへ広げるなどされていますし、高山中央RCは会員数56名、13年連続R I会長賞と積極的な活動をされています。そんな中、門前会長を中心に高山西RCも今期R I会長賞を目指して幅広い活動を展開され、意義深い1年だったのではないかと思います。

そして今期、木村ガバナーの掲げられた地区重点目標の一つ、会員基盤の強化に関しまして、地区全体で110増63減、濃飛グループでは16増2減と健闘して頂きました。高山西RCでは今期は増減なし、との事ですが、次期に向けての動きがあるという事で楽しみにしております。

最後に今年の規定審議会での主な採択案についてご報告します。

2016年度に続き、R I分担金のさらなる増額について採択され、また、ローターアクトクラブについてもR Iへの加盟が求められる事となりました。さらに皆さんにとって最も大きな変更点は、メイクアップがこれまで前後2週間の間とされていましたが、1年間有効となった点かと思われまます。

今期一年ありがとうございました。

# 例会報告



**次期ガバナー補佐 清水 幸平 様**  
次期ガバナー補佐を拝命しました清水です。内田ガバナー補佐以上のご支援をどうぞ宜しくお願いいたします。

## クラブアッセンブリー

**S. A. A 田近 毅**

基本方針として、例会をスムーズに行えるように努めました。また年2回、指定席としてみました。

担当例会は、1回目はH30年9月28日夜坂本ホテルの坂本雄さんを講師に、ワインの勉強会をひだ信ホールにて行いました。2回目は、H. 31年3月15日(金)清見町、道の駅「七杜」にて、地元講師さん、瀬戸祐介さんと上屋薫さんを講師に迎え、シシ鍋を食べながらジビエと狩猟のお話しをして頂き、岐阜新聞に掲載されました。



**クラブ奉仕委員長 鴻野 幸泰**

副委員長 平さん、委員は古橋さん、井上さん、新井さん、山下さん、住田さん、田邊さん、黒木さんです。

基本方針は、会長の方針に従い、各委員会の連携を調整し活性化を図る、です。去年の7月にはクラブ奉仕委員会の委員さん方に集まっていただき新年度の活動協力や要望を調整する会議を開きました。12月には文化会館にて夜間例会を開催させていただきました。内容はCLP準備委員会の説明を門前会長よりしていただき、会員の皆さんと話し合いをさせていただきました。

**親睦委員長 住田 泰典**

今年度の私たち親睦活動・趣味の会委員会は「ロータリーに創意と工夫を、そしてロータリーを楽しもう」の会長方針の下、会員相互の絆がより深まることを目的に活動してきました。

恒例行事の納涼浴衣例会を天満神社で、新年家族例会を高山グリーンホテルで、新緑例会を白川郷で行いました。行事は例年と変わりませんでしたが、内容は今までに無かったことを一つやることを目指してきました。納涼浴衣例会では「利き酒大会」新年家族例会では「高山出身の若手三味線プロの演奏披露」新緑例会では楽しくバス旅情ができる工夫として「移動バス車内での生ビールとシャンパンの提供」を行いました。面白そうなことは多少無理がありそうでもやらせていただきました。

これらにより会員相互はもとより、我々親睦委員メンバー同士の距離も近くなったと思います。1年間ありがとうございました。



**ニコニコ委員長 新井 典仁**

副委員長が大村さん、委員が萱垣さん、松川さん、蒲さんです。

ニコニコBOXですが、今年は150万円を目標に活動して参りましたが、現在のところ99万円に留まっております。今年度まだ例会はありますので、皆様どうぞ宜しくお願い致します。1年間ご協力頂きまして有難うございました。

**会報委員長 黒木 正人**

会報委員会は、副委員長榎坂さん、委員小森さんの三人で運営しました。基本方針の一つ目、クラブの活動の記録に関しては、ラインを活用しタイムリーに投稿でき、また多くの皆さんに積極的に投稿していただき、大変助かりました。

基本方針の二つ目は、創意と工夫の一環で会報に「お薦めの本・映画」のコーナーを設け、人生のヒントを共有することでした。こちらは原稿が集まらず苦戦しましたが、最後には門前会長に投稿いただき、終わりよければすべて良ししたいと思います。

会報の方は中澤さんに全面的に頼り切っていますが、皆さんのご協力により素晴らしい会報が出来上がっています。中澤さんに感謝申し上げたいと存じます。

担当例会は、木村ガバナーのロータリーでの自らの感動体験を思い起こし話しましょうとの言葉を受けて、小森さん、榎坂さん、私の3人がロータリーで感動したことを話しました。

以上、一年間どうもありがとうございました。



**雑誌広報委員長 井上 正**

11月卓話では蒲優祐さんにお話しいただき、その後入会に繋げることができました。

また、Facebook投稿にも取り組み、十分とは行きませんが、ある程度投稿もすることができ、先日のスカイパーク歩道整備記事では700以上もアクセスいただくことができました。Facebook投稿につきましては、今後もぜひお取り組みいただけたらと思います。1年間ありがとうございました。

**職業分類・選考委員長 平 義孝**

当考委員会は、副委員長岡田さん、委員折茂さんの3名で活動いたしました。

会員増強委員会から今期4名の方が入会候補者として推薦され、当委員会にて選考の上理事会へお諮りしました。3名の方が入会となり、それぞれの職業分類を検討、決定いたしました。もう1名の方についても新年度冒頭からの入会が決まりましたので、今期の当委員会において職業分類を決定させていただきます。

また担当例会は2月8日、厚生労働省岐阜労働局 高山公共職業安定所 所長の浅川 淳様をお招きして、飛騨地域の雇用失業情勢や、働き方改革に係る労働局の「認定マーク」などについてお話しいただきました。



**出席・プログラム委員長 田邊 淳**

副委員長塚本さん、委員狭土さんです。

【基本方針】

- ・各委員会と連携し、会員の為になるプログラム開催をサポートする。
- ・出席率の向上を目指す。

【実行計画】

- 1、(継続) 出席表の作成
- 2、(継続) 出席状況の報告
- 3、(継続) 出席に関する喜捨(ファイブ)の徴収
- 4、(新規) ベテラン会員同行のメイク日を定期的に設定する。(メイキャップし易い環境・意識作り)
- 5、(新規) 例会日程の検討(祝日週の休会日設定)

上記、実行計画4について「ベテラン会員同行のメイク日」年間計画(日程、引率会員)を門前会長相談の上作成し、事前に会員へ発信する。例会欠席する場合、事前に予定されている「メイク日」へ参加するように誘導を行う、とし年4回のメイクを計画、実施しました。





# 例会報告

## 【年間メイク日計画】

設定日	引率パテン会員	訪問クラブ	参加人数
1回目： 10月18日	門前会長	高山クラブ	6名 実施済
2回目： 12月10日	門前会長	高山中央クラブ	8名 実施済
3回目： 3月12日	門前会長	下呂クラブ	6名 実施済
4回目：5月	門前会長	郡上八幡クラブ	実施できず

年4回計画の内、3回のメイクを実施し、合計で20名の参加を頂きました、ご参加の方にはご協力が難うございます。このメイクにより、訪問クラブの良い所や当クラブとの違いも認識し、今後西クラブをより良くするために役立つものであったと考えています。これら皆様のご協力により4月単月では出席率90%を超え、基本方針「出席率向上」の達成に繋がっているものと思います。

### ロータリー情報委員長 古橋 直彦

2月22日ロータリー情報委員会担当例会を行いました。西クラブでも導入を検討中のCLP（クラブリーダーシッププラン）について、高山地区でいち早くCLPを導入された高山中央ロータリークラブより、高山中央未来委員会委員長の清水幸平さんにお越しいただき、実際にCLPを導入されるにあたっての経緯や具体的な手法、推進に伴う問題点や解決方法、また導入前後のクラブの変化とCLPへの評価等をお伺いして当クラブの参考とさせていただきます。



また、情報委員会として活動計画書にもうたっていますように、新入会員に対するオリエンテーションの実施ですが、昨年の反省を踏まえ、開催日を5月末ギリギリまで引っ張りましたが、今年度の門前会長の増強に対しての並々ならぬ熱意で本日14日には大垣共立銀行の松田支店長さんに入会頂き、また来週21日にはNPO法人ほのぼの朝日の高井道子さんが入会されるとの事。つい先日も幹事通告が郵送されてきました。そのような事情から、当委員会としてもオリエンテーションの調整がつかず、結果次年度に持ち越しての開催とさせていただきます。幸い次年度ロータリー情報委員会委員長は副委員長の田中さんが持ち上がりますので資料として用意したのもそのまま使えます。

今年度の反省として

1. 今後は新入会員に対し入会後速やかな研修を実施すべきである。
2. 今まではオリエンテーションと懇親会がワンセットでの開催の為、数回にわたり開催が難しい。今後は別々の開催が望ましいと思われる。

## <ニコニコボックス>

### ●濃飛グループガバナー補佐 内田 幸洋 様

本日24回目のクラブ訪問です。ようやく終わります。皆様ご協力ありがとうございます。

### ●次期濃飛グループガバナー補佐 清水 幸平 様

本日はお世話になります。次年度はよろしく願い致します

### ●門前 庄次郎さん、田中 正躬さん

本日ゲストとしてお越し頂きました、国際ロータリー第2630地区濃飛グループガバナー補佐 内田幸洋 様、次期ガバナー補佐 清水幸平 様、ようこそお越し頂きました。内田様には一年間大変お世話になり有難うございました。また清水様には来年度お世話になりますが、ご指導を宜しくお願いいたします。また、新しく入会いただきました松田 康弘さん、ようこそ西ロータリーへ。これから未永くよろしく願います。

### ●岡田 賛三さん、挟土 貞吉さん、田近 毅さん、平 義孝さん、斎藤 章さん、米澤 久二さん、田中 武さん、遠藤 隆浩さん、堀 和信さん、鴻野 幸泰さん、大村 貴之さん、井上 正さん、新井 典仁さん、田邊 淳さん、黒木 正人さん

内田ガバナー補佐、一年間お疲れ様でした!!次期ガバナー補佐 清水 様、宜しくお願いいたします!!

### ●小森 丈一さん

清水幸平 様のご来訪を歓迎致します。

### ●遠藤 隆浩さん、垣内 秀文さん

松田支店長の入会を歓迎いたします。これからよろしく願います。

### ●古橋 直彦さん

新井さん一年間ご苦労様でした。私事になりますが中々出席できず協力が出来てませんので、本日少しでも思い埋め合わせします。

### ●田中 晶洋さん

今日は長女の24歳の誕生日です。朝ラインでメッセージを入れたら、本日は仕事を休んで彼氏とディズニーシー行くとの事。天気も良く楽しめているようで何よりです。

### ●新井 典仁さん

私事で恐縮ですが嬉しかったのでニコニコさせていただきます。国内最大手の監査法人でありますEY新日本有限責任監査法人に公認会計士として勤務しております私の弟 新井慎吾が、入社してから苦節17年、一職員から社員という立場に昇進しました。社員は社内全体で3,000人以上在籍する会計士の中で550人程しかありません。「社員になれないと大した退職金も出ん、今年昇進できなかったら会社辞める」と豪語しておりましたので、兄としてホッとしております。

### ●下屋 勝比古さん

今年度もあと2回。今日は女子高生とバスに乗って静岡へ行くので早退します。

## お薦めの本

門前 庄次郎

### 「竜馬がゆく」 司馬遼太郎



私の中・高校生時代は文学少年とは程遠い位置に居り、文章を読むのは国語の教科書位で有ったように思います。そんな私が高校生の時友人に勧められ読んだのが司馬遼太郎の『竜馬がゆく』でした。あまりの長編に読み始める事が躊躇われましたが、1巻を読み終わる頃には夢中になり、どんどん読み進めて行った記憶が、今でも思い出されます。

幕末維新を風のごとく疾走した坂本竜馬が、本の中で走り・躍動する姿に圧倒され、そして憧れました。世間一般にイメージされる竜馬像は、この歴史小説の影響が大きい事や、幕末の志士の中で最も人気がある事も、良くうなずけます。そして今までテレビ等で長編時代劇として何度か放映されていますが、原作本を超えるものは無いように思います。それ以後司馬遼太郎を読み漁り、ちよっぴり他の文学に手を出さずきつかけとなりました。

また坂本竜馬は私の憧れと共に人生の手本とすべき人物となりました。(尤もぜんぜん生かし切れていませんが。)

インスピレーションになろう